

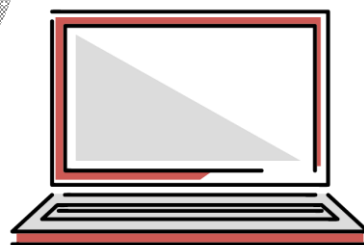
令和4年度 東京都教員研究生
カリキュラム開発研究【中学校外国語科】

研究主題

よりよく読み手に伝わるように意識しながら、
まとまりのある文章を英語で書くことができる生徒の育成
—生徒が学び合いながら推敲する過程を通して—

目 次

- (1) 研究の概要 . . . pp. 1～2
- (2) 生徒が学び合いながら推敲する過程
. . . pp. 3～4
- (3) 学び合いシート . . . pp. 5～6
- (4) ワークシート . . . pp. 7～8



令和5年3月
東京都教職員研修センター
研修部教育開発課
教員研究生
杉並区立向陽中学校
主任教諭 鈴木 美帆

(1) 研究の概要

1 研究のねらい

中学校学習指導要領(平成29年3月告示)では、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、各教科等における見方・考え方を働かせることを通じて、より質の高い深い学びにつなげることが重要であると示されている。外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方とは、「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」である。コミュニケーションを行う目的や場面、状況等(以下、「目的・場面・状況等」と表記。)に応じて、伝える内容や表現を調整することや、文と文の順序や相互の関連に注意を払いながら、まとまりのある内容を表現することは、現在の翻訳機にはできない。翻訳機が普及している現代だからこそ、翻訳機にはできない技能の育成が必要だと考える。本研究では、生徒が思考を整理しながら、自分の文章と向き合う時間を十分確保できるように、「書くこと」の指導に焦点を当てる。生徒同士で文章を読み合ったり、自身で推敲したりする活動を通し、目的・場面・状況等に応じて、読み手に伝わるように意識しながら、表現することができる生徒の育成を目指す。

2 研究仮説

生徒が学び合いながら推敲する過程を工夫することで、生徒が読み手を意識して、伝える内容や表現を考えながらまとまりのある文章を書く力を高めることができるだろう。

3 「読み手を意識して書く」とは

国語科における指導を参考にしながら、読み手に分かりやすい文章とするための大切な視点を、以下のよう

にまとめた。

- ・ 書く相手や目的に応じた語彙・表現を用いている。
- ・ 意見と事実を分けている。
- ・ 相手の感情や気持ちに配慮した表現を取り入れている。
- ・ 相手のもっている知識や関心に応じた構成になっている。
- ・ 断定、推量などの助動詞を用いた表現や、動詞の使い方(時制・受け身など)が適切である。

また、本研究における用語の定義は以下のとおりである。

本研究における定義

「まとまりのある文章」・・・70～100語程度で、文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文章であること。

「推敲」・・・個人で何度も文章を振り返り、改善していくこと。情報やキーワード、順序などの構成を練る段階から、提出する直前まで行うこと。

「学び合いながら推敲」・・・ペアやグループになり、お互いに作品を読み合ってコメントする。ペアやグループでやり取りした内容を参考に、推敲を重ねること。

4 「学び合いながら推敲する過程」を取り入れた検証授業前後における、調査結果の変容

都内公立中学校第3学年生徒98人対象に検証授業を実施し、「学び合いながら推敲する過程」の効果を検証した。検証授業の前後で、生徒対象に「技能に関する調査」と「意識調査」を実施し、生徒の技能と意識の変容を分析した。技能に関する調査は、「日本について詳しく知らない外国からの転入生に、自分の好きなことが伝わるように自己紹介カードを書く。」という場面設定で行い、「日本について詳しく知らない外国からの転入生」への配慮が見られる英文になっているか、という視点で評価した。意識調査は、「英語でまとまりのある文章を書くときに、意識していること」についてである。調査結果の概要は下図に示すとおりである。

技能に関する
調査の採点基準

配慮が見られる回答例

... I can't speak English well. But **I want to be friends with you!** My favorite game is "〜." **Have you ever played it? It's an action game.**

緊張をほぐす文

好きなものを
分かりやすく説明する文

配慮が不足している回答例

I like music. My favorite singer is (日本の歌手名).
My hobby is reading books. ...

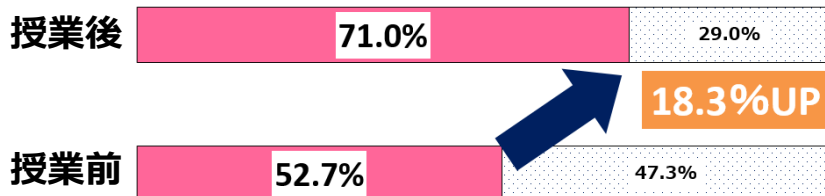
相手に問いかける文

日本の歌手や好きな音楽について
読み手に伝わるように、説明が欲しい。

どの場面でも使える自己紹介である。他者との
関わりを意識した文に改善することができる。

技能調査

■ 配慮が見られる回答 □ 配慮が不足している回答

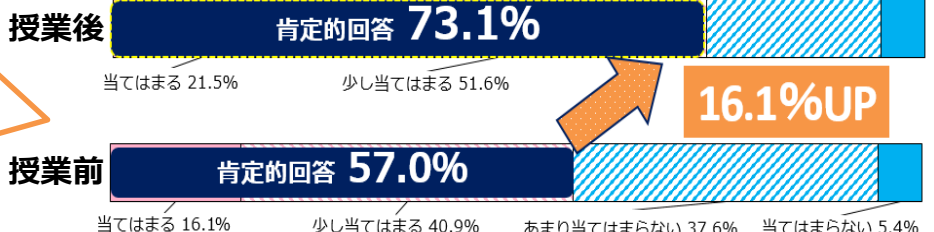


配慮が見られる回答が
授業後、18.3%増加している。

意識調査

まとまりのある文章を書くときは、文と文のつなぎ方を工夫して
書いている。

まとまりのある文章を書くために、
文と文のつなぎ方を意識することは
大切である。授業後、「つなぎ方を
工夫して書いている。」という設問に
肯定的に回答した生徒が16.1%増加
し、意識が高まっている。



5 研究の成果

- 生徒が学び合いながら推敲する過程を取り入れた指導を通して、生徒が読み手を意識して、伝える内容や表現を考える力が高まった。
- 学び合いシートを活用することで、推敲の観点が明確になり、生徒の主体的な学びを促すことができた。
- 一人1台の学習者用端末を活用した指導を工夫することで、英語で書くことに対して苦手意識を抱える生徒も、負担が少なく文章を作成することができた。

Are you interested in Japan?
If you have any questions about Japan or this school,
I can answer the questions.

研究を終え、自己紹介文に加えて、
他者との関わりを意識しながら
英語で表現することができた
生徒の文章の一部

What is your hobby?
I want to know about you.

Do you like cooking? If you like cooking,
let's talk about cooking with me.

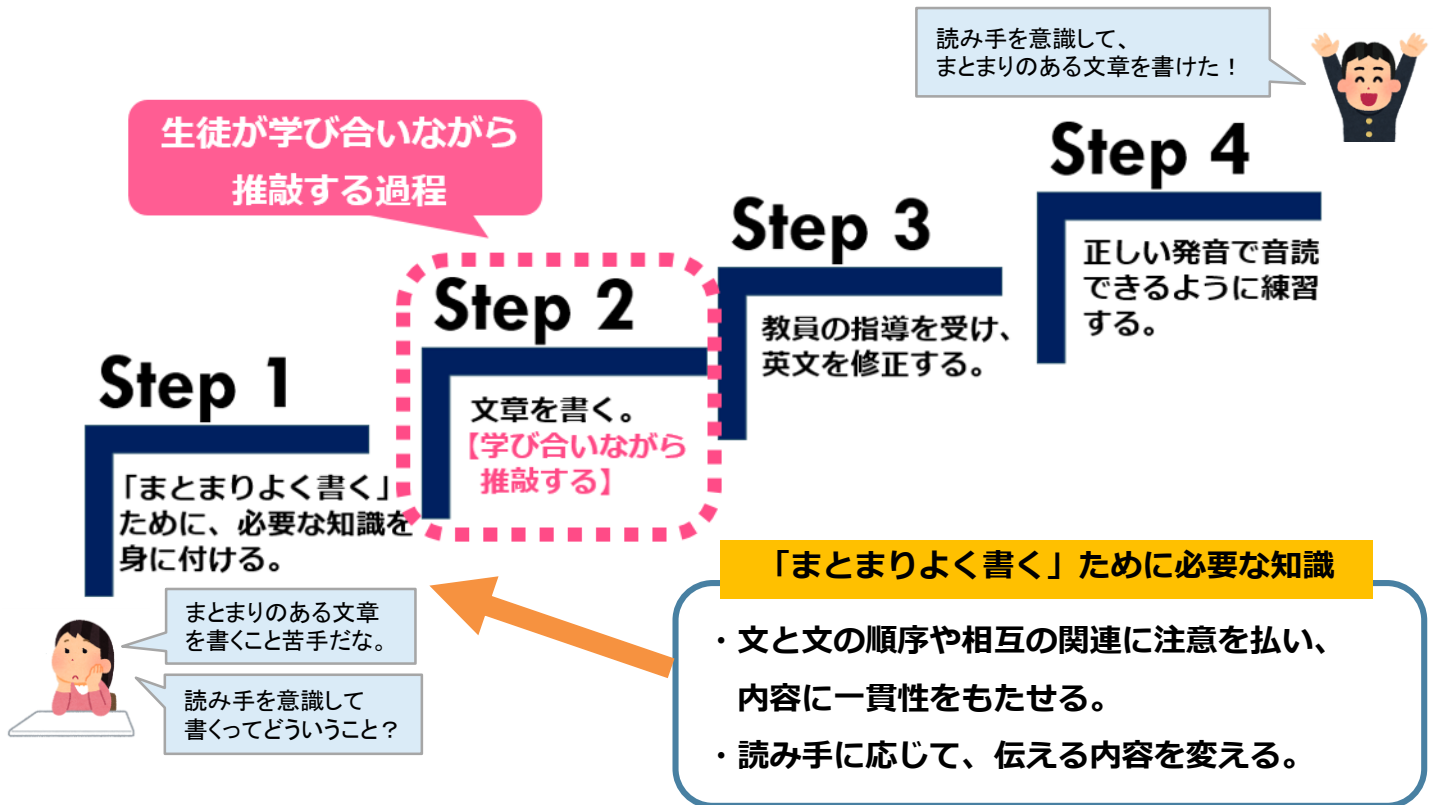
令和4年11月 技能に関する調査「日本について詳しく知らない外国からの転入生に、自分の好きなことが伝わるように自己紹介カードを書く。」

(2) 生徒が学び合いながら推敲する過程

指導のねらい

生徒が読み手を意識して、伝える内容や表現を考えながらまとまりのある文章を書く力を高める。

「生徒が学び合いながら推敲する過程」を取り入れた段階的な学習活動




▼ Step 2 「文章を書く」における授業の流れ

	書く目的・場面・状況等の確認	1st Writing の完成 50～100分
	★学び合いシート(本誌p. 6)の配布 ・指導者が示す観点の確認 ・生徒自身で振り返りの観点を決定	
	メモを基にした文章作成【1st Writing(第1案)完成】 ★学び合いシートに自己評価記入	
	ペアでの学び合い(★学び合いシートを用いて相互評価)	学び合い ながら推敲 する過程 50分
	やり取りした内容を参考にした推敲【2nd Writing(第2案)完成】	
	ペアでの学び合い(★学び合いシートを用いて相互評価)	
	やり取りした内容を参考にした推敲【Final Writing(提出用)完成】	
	1st Writingからの修正・変更箇所の振り返り	
	指導者に提出	

単元指導計画(例)

1 教科書の指導と組み合わせる場合

第1時	 <p>教科書を用いた指導</p> <p>「まとまりよく書く」ために、必要な知識を身に付ける活動</p> <p>具体的には</p>	【具体的な指導の例】 ○ねらい →活動 ・参考となるワークシート
第2時		○ 教科書を読み、「意見」と「事実」を正しく読み分ける。
第3時		→ 生徒は、「意見」を表す文には波線、「事実」を示す文には下線をつける。
第4時		○ 読み手に伝わりやすい構成について、理解を深める。
第5時		→ クラスで意見交換する。
第6時		・ワークシート①（本誌p. 7）
第7時		○ 文と文のつながりを工夫して、短い文章を書く。
第8時	事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く活動	→ 与えられたテーマに関して、事実や自分の考え、気持ちを書く。その際、生徒は文と文をつなげる表現を活用する。
第9時		・ワークシート②（本誌p. 7）
第10時	学び合いながら推敲する活動	・ワークシート④（本誌p. 8） ・学び合いシート（本誌p. 6）
第11時	教員の指導を受け、英文を修正した後、正しい発音で音読できるように練習する活動	・学び合いシート（本誌p. 6） ・ワークシート④（本誌p. 8）

2 題材として扱う場合

事前に決めること	<p>話題の決定 (例：日本文化の紹介など)</p> <p>例 日本文化の紹介パンフレットを作り、ALTにプレゼントする。日本での生活が長い先生なので、有名な日本文化は既に知っている可能性が高い。紹介する日本文化について、魅力が伝わるように紹介文を書く。</p>	話題が決まったら、書く目的や場面、状況等を具体的に決める。
第1時 第2時	<p>「まとまりよく」書くために、必要な知識を身に付ける活動</p> <p>具体的には</p>	<p>【具体的な指導の例】 ○ねらい →活動 ・参考となるワークシート</p> <p>○ 読み手に伝わりやすい構成について、理解を深める。</p> <p>→ クラスで意見交換をする。</p> <p>・ワークシート①（本誌p. 7）</p> <p>○ キーワードを基に、4～5文程度の文章を書く。</p> <p>→ 与えられたキーワードを用いて、文章を書く。文と文のつながりを意識して書く。</p> <p>・ワークシート③（本誌p. 8）</p>
第3時 第4時	事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く活動	・ワークシート④（本誌p. 8） ・学び合いシート（本誌p. 6）
第5時	学び合いながら推敲する活動	・学び合いシート（本誌p. 6）
第6時	教員の指導を受け、英文を修正した後、正しい発音で音読できるように練習する活動	・ワークシート④（本誌p. 8）

(3) 学び合いシート

より良い文章を書くために、学び合いシート（Learning Sheet）は役立った。

肯定的回答 96.4%

どちらかというと、そう思う 21.7%



〔利用した生徒の感想 アンケートの自由記述より〕

令和4年11月
都内公立中学校
第3学年 83人回答

途中でみんなの意見やアドバイスを
聞いたからよかった。

自分で目標を立てることによって、
自分が何を伝えたいかが分かりやすくなった。

Learning Sheetの項目を満たせるようにと、
授業の意欲が向上した。

何を意識するべきかわからなくなってしまうこと
があるので、確認しながらできてよかった。

解決策

英語が苦手な人とペアになったとき、
有意義な時間にならないと感じた。

学び合いを活性化させるための具体的な教員の手だて

- ☑ ペアワークの回数を増やす。
- ☑ 教員が、ペアをコントロールする場面を入れる。
- ☑ 中間指導を入れ、全体で共有する。



中間指導で共有する作品は、事前に準備した他クラスの生徒の例でも構わない。
1st Writingから改善された例を紹介することで、生徒の改善意欲を高められるようにする。

学び合いシート活用のポイント

- ・学び合いシートは、書く目的・場面・状況等を確認した後すぐに配布する。
 - ➡ 書き始める前に生徒が振り返りの観点を決めることで、生徒の主体的な学びにつながる。
 - ➡ 学び合いシートの観点到書かれた項目を確認しながら、生徒が文章を書くことができる。

【学び合いシート(Learning Sheet) 紹介文の例】

Learning Sheet - Learn from each other (学び合おう) -				
自分の書いた英文の言語面・内容面を推敲(れいさ)し、OKであればチェック(✓)をつけよう。				
	言語面や内容面を振り返ろう	Myself (✓)	Partner 1 (✓)	Partner 2 (✓)
1	紹介したい人(物)について、知らない人にも伝わる紹介文になっている。			
2	紹介したい人(物)の魅力が伝わるように、 <u>具体的に</u> 書いている。			
3	詳しく書く情報と、簡単に書いた方が効果的である情報を判断して書き、読みやすい文章になっている。			
4	接続詞や副詞を効果的に使って、文と文のつながりを工夫している。			
5	文の順序が適切であり、結びの言葉を書いている。			
6				
7				
8				

↑太枠には、自分が決めた振り返りの観点を記入する。
(例：具体的なエピソードを1つ入れる。／主語が同じ文を、何度も続けて書かない。など)

自己評価を記入する。

生徒の記入例

- ・主語が同じ文を、何度も続けて書かない。
- ・具体的なエピソードを1つ入れる。 など

➡ 自分で振り返りの観点(目標)を決めることで、生徒の主体的な学びを促す。

Questions / Comments (上記の項目を基に質問やコメントを伝えよう)

Partner 1 ()

Questions / Comments

Partner 2 ()



東京都教職員研修センターホームページ内、「令和4年度研究報告書、成果物」から、データをダウンロードできます。 ↑
(東京都教職員研修センターHP > 研究・研修アーカイブズ > 教員研究生の報告書 > 令和4年度研究報告書、成果物)

(4) ワークシート

ワークシート①（読み手に伝わりやすい構成について理解を深める。）

伝わりやすい構成について考えよう

3人の「尊敬する人物」についての紹介文を読んで、「読み手に伝わりやすい構成」について考えましょう。

① The person I respect is my friend, Takashi. We have known each other since we were elementary school students. Since last year, he has been a member of the Library Committee. He learns a lot of things from books. He reads a lot of books every month, so I also try to read one book every month. I want to be like him.

② The person I respect is my sister. She is a high school student now. She plays tennis very well. She got a medal. I like playing tennis with her. When she was a second-year student, she became a member of Ekiden. She studies after dinner almost every day. She is a good student and a good athlete. That's why I respect her.

③ The person I respect is my uncle. He has been an elementary school teacher for 10 years. He has been to many foreign countries such as India and Thailand. He often shares his experiences with me. He said, "I can't speak English well, but I like talking with people around the world." He taught me that it is important to try a new thing. In the future, I want to make a lot of friends around the world like him.

どの文章が、相手によく伝わる構成で書いているかな？

言語面の誤りがない文章を読むことで、内容面に着目できるようにしている。伝わりやすい構成について、グループやクラスで意見交換し、伝わりやすい構成について理解を深める。

- 1 ①～③の文章を読んで、あなたはどの紹介文が読みやすいと思いますか。それはなぜですか。他の文章と比較しながら、自分の考えを書きましょう。

ワークシート②（文と文のつながりを工夫して書く。）

つなぎ方をよくするためのポイント 1

短い文が続くことを避ける。

I like sports.
I play basketball.
Basketball is fun.

△ 相手に伝わる情報が少ない。

➡

I like sports. I am a member of the basketball team, so I often play basketball after school. It is fun for me to play it with my friends.

○ 文を長くして伝わる情報を多くしている。
○ 接続詞 (so) や副詞 (often)、代名詞 (it) を効果的に用いている。

つなぎ方をよくするためのポイント 2

よく使う表現を覚えて、使ってみる。(覚えれば、話すときも書くときも便利！)

用途	文と文をつなぐために、よく使う表現（日本語訳）
(1) 逆のことを伝えたい	However, ... (しかし) ※文中で使うときは、～, but ...もよく ※ however は but よりかしこまった表現
(2) 対比したい	On the other hand, ... (他方では、これに反して) Usually, ... (普通は)
(3) 結果を伝えたい	So, ... (だから) As a result, ... (結果として) That's why 主語 + 動詞《結果を表す文》 (だから...です) Thanks to 名詞, ... (～のおかげで)
(4) 情報を追加したい	Also, ... (そして) ※文中で使うときは、～, and ...もよく使う。

よく使われる表現を集めている。英作文するときには、このワークシートを参考にしながら書くように伝える。

ワークシート③（キーワードを基に、4～5文程度の文章を書く。）

1 上のキーワードを参考に、以下の質問に答える紹介文を1文書きましょう。

(1) What is *furoshiki*? (風呂敷って何?)

→ _____

(2) What do you wrap with *furoshiki*? (風呂敷で何を包むの?)

→ _____

(3) Why is *furoshiki* good for the environment? (風呂敷はなぜ環境に良いの?)

→ _____

2 その他、風呂敷の説明や、風呂敷に関する自分の考えなどを1～2文で書きましょう。

3 1と2で書いた英文を、自然な流れになるように並べ替え、風呂敷の紹介文を完成させましょう。
必要に応じて英文を加えても構いません。

1文ずつ書くことで、まとまりのある文章を書くことに、少しずつ慣れていく。

ワークシート④（事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く。）

〇〇について、まとまりのある文章を英語で書こう

★先生と一緒に、書く目的や場面・状況等を確認しましょう。

①	誰に向けて書きますか。	
②	書く目的は何ですか。	
③	①と②を踏まえて、「配慮が必要なこと」や「工夫できること」は何ですか。	
④	発表はどのような形式で行いますか。	

学び合いシート（本誌p.6）と合わせて使用する。5W 1Hを意識しながら、生徒はまとまりのある文章を書いていく。

STEP 1 自分の考えや意見を決める

自分の考えや意見 → _____

STEP 2 見通しを立てる①



東京都教職員研修センターホームページ内、「令和4年度研究報告書、成果物」から、データをダウンロードできます。↑
（東京都教職員研修センターHP＞研究・研修アーカイブズ＞教員研究生の報告書＞令和4年度研究報告書、成果物）